

教職員・弘済会会員の皆様

平成29年2月号

弘済会そくほう



公益財団法人
日本教育公務員弘済会
岐阜支部

平成29年度 貸与奨学金のお知らせ

平成29年度も例年どおり
「貸与奨学金事業」を実施の予定！！

弘済会は、学ぶ意欲にあふれた
青少年を応援します！！

- 無利息
- 最高100万円を一括貸与
- 返済は最長7年
- 教弘会員でなくても申請可

資格 : 連帯保証人（保護者等）が岐阜県内在住又は在勤で、学校教育法に準拠する短大・大学・大学院・高等専門学校（4・5年生）・専修学校専門課程に29年度入学又は在学中の学生（4月1日時点で30歳未満・未婚）

募集人数 : 70名程度（予算額6,800万円）

岐阜支部の「教育振興事業選考委員会」において選考します。

貸与金額 : 修業期間1年につき25万円（最高100万円）

貸与方法 : 無利息で一括貸与

返還方法 : 貸与生の正規の卒業年の12月を返還の初回とし、毎年12月に5年以内で返還（貸与額100万円に限り7年以内も可）（滞納の場合には延滞金をお支払いいただきます）

募集期間 : 平成29年4月1日～4月30日（必着）

提出書類 : ①奨学生申請書 ②付属調査票 ③在学証明書
④連帯保証人の収入に関する証明書（源泉徴収票のコピー可）
①②は弘済会岐阜支部HPからダウンロードしてください
（必ずダウンロードした様式をご利用ください。旧様式は使用できません）。

選考委員会での選考・幹事会での承認を経て6月初旬を目途に「決定通知」を送付

貸与決定者は、⑤奨学金借用証書 ⑥連帯保証人の印鑑証明書を提出

貸与時期 : 8月下旬～9月上旬（奨学生名義の口座に振り込み）

奨学生は、卒業後速やかに卒業論文概要又は学習成果、及び奨学金の主な使途を理事長に報告することが求められます。

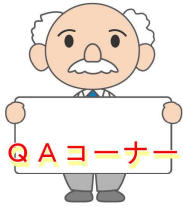
必ず岐阜支部のHPで確認してください



ホテルパストール（下呂温泉）からのお知らせ

弘済会岐阜支部の宿泊補助対象である「ホテルパストール」から「平成29年3月31日をもってホテル業務を終了」との連絡がありました（4月以降は、新たな運営会社により営業の予定）。それにより、弘済会の宿泊補助についても3月末をもって終了となります。これを受けて、ホテルパストールでは会員向けの特別感謝宿泊プラン（3月末まで）が行われるそうです。

なお、県内で補助対象となっている15の宿泊施設（全国では150以上）については引き続きご利用いただけます。



「ライフサポート倶楽部」の会員が様々なサービスを受けられることは理解しているのですが、具体的な内容を調べるにはどのような方法がありますか。

1 「ぎふ弘済会ガイドブック 保存版」を利用する方法

各校には毎年度4月に「ぎふ弘済会ガイドブック 保存版」という冊子が1部送付されています。その中に、利用できるサービスの例と全国の宿泊施設一覧が掲載されています。

2 「ライフサポート倶楽部」HPで検索する方法

日教弘本部のHPから次のように進むと情報を入手することができます。

日教弘HP（トップページ）	→	日教弘会員の皆様	→	ライフサポートクラブ
→ 日教弘ライフサポート倶楽部	→	会員証番号の先頭8桁を入力	→	ログイン
→ サービスのご案内				



弘済会の猪の独り言

先日、二十代の頃に二年間担任をした生徒達と飲んだ。彼らは、四十を過ぎた頃から毎年のように同窓会を開いてくれるが、私はいつも懺悔の思いをもちながら会に参加している。

当時、学級経営力に欠けていた私は、目の前の生徒指導に明け暮れるだけで、彼らに毎日辛い学校生活を送らせていた。出勤するのも嫌で、「このまま右にハンドルを切れば川に飛び込める」と何度思ったことか。

平成二十一年、こんな記事を読んだ。

今どきの学校で流行るもの。職員室の「のむうっ、かう」。不謹慎と思われる方がいるかもしれないが、都内の学校でこんなブラックジョークが流れている。勿論、飲むのは酒ではなく、ばくちを打つ訳でもない。疲れを吹き飛ばすために栄養ドリンクを飲みまくり、どの職場にもうつ病が広まっているという意味だ。買っつのは宝くじで、3億円を当てて教職を去りたいという思いが込められている。

そう言えば私も若かった頃、「宝くじを当てて教員を辞めてやる」とよく言ったものだが、結局、定年まで勤め上げた。その時々を振り返れば、苦しいこと辛いことの連続だった。しかし、立派に成長した教え子たちを見ると、彼らと真剣に向き合ってきたことを誇りに感じるのも事実である。

今、学校に課せられる課題は、昔以上に多い。その真っ直中におられる先生方のご尽力には頭が下がる思いである。しかし、時代は変わろうとも少しも変わらないものがある。真剣に生きる先生を信頼する子どもたちの笑顔である。

弘済会は、そんな先生方を応援する。